

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	即興による音楽療法の実践原理～セラピスト・クライアントの関係性から探る～	
所属	音楽	
氏名	石村真紀	
【概要】	即興による音楽療法の実践原理～セラピスト・クライアントの関係性から探る～	
	<p>音楽療法には様々なアプローチの仕方があり、特に日本では既成曲を用いてセッションを組み立てる方法が一般的であるが、クライアントとの深い心的交流を目指す場合、既成曲の組み立てでは限界があり、瞬間瞬間のクライアントから発信されたものを受容し応答していく即興による音楽的交流が必要となる。これはすでに、創造的音楽療法として、P.ノードフとC.ロビンズによって確立されたアプローチではあるが、セラピストとクライアントとの関係性という視点からの実践原理の追求はなされていない。また、この相互交流によって構築される関係性の質的検討が、クライアントの変容のみならずセラピストの実践力(臨床のための音楽力)の向上のためにも、目を向けるべき課題であると考え。これらの研究は、音楽療法士たちの日々の臨床の質を上げ、より高いレベルでのクライアントの支援につなげることを目的とする。</p>	
キーワード	即興 相互交流 関係性 音楽療法	